

1. 「わたしは世の光です」の場面背景

►「仮庵の祭り」

※ヨハネ7:2

「さて、仮庵の祭りというユダヤ人の祝いが近づいていた。」

※ヨハネ7:37

「イエスは立って、大声で言られた。「だれでも渴いているならわたしのもとに来て飲みなさい。」」



(引用:<https://www.preceptaustin.org/john-8-commentary#8:12>)

「敬虔で善い行いに励む人々が、燃えるたいまつを手にその前で踊り、歌と賛美を捧げていた。また、数え切れないほどのレビ人たちが、ハープ、豎琴、シンバル、ラッパ、その他様々な楽器を奏でていた。」(ミシュナー)

▷“光”の持つ意味

1) 光は栄光に満ちた神様の_____を表すもの

※出エジプト記13:21-22

「主は、昼は、途上の彼らを導くため、雲の柱の中に、夜は、彼らを照らすため、火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。彼らが昼も夜も進んで行くためであった。昼はこの雲の柱、夜はこの火の柱が民の前から離れなかった。」

2) 光は力強い神様の_____を表すもの

※出エジプト記14:23-25

「エジプト人は追いかけて来て、パロの馬も戦車も騎兵も、みな彼らのあとから海の中に入つて行った。朝の見張りのころ、主は火と雲の柱のうちからエジプトの陣営を見おろし、エジプトの陣営をかき乱された。その戦車の車輪をはずして、進むのを困難にされた。それでエジプト人は言った。「イスラエル人の前から逃げよう。主が彼らのために、エジプトと戦つておられるのだから。」」

3) 光は最善をご存知の神様の_____を表すもの

※民数記9:15-22

「幕屋を建てた日、雲があかしの天幕である幕屋をおおつた。それは、夕方には幕屋の上にあって火のようなものになり、朝まであった。いつもこのようであつて、昼は雲がそれをおおい、夜は火のように見えた。雲が天幕を離れて上ると、すぐそのあとで、イスラエル人はいつも旅立つた。そして、雲がとどまるその場所で、イスラエル人は宿営していた。主の命令によって、イスラエル人は旅立ち、主の命令によって宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間、彼らは宿営していた。長い間、雲が幕屋の上にとどまるときには、イスラエル人は主の戒めを守つて、旅立たなかつた。また雲がわずかの間しか幕屋の上にとどまらないことがあつても、彼らは主の命令によって宿営し、主の命令によって旅立つた。雲が夕方から朝までとどまるようなときがあつても、朝になって雲が上れば、彼らはただちに旅立つた。昼でも、夜でも、雲が上れば、彼らはいつも旅立つた。二日でも一月でも、あるいは一年でも、雲が幕屋の上にとどまって去らなければ、イスラエル人は宿営して旅立たなかつた。ただ雲が上つたときだけ旅立つた。」

4) 光は後にやって来る主のしもべ/_____を表すもの

※イザヤ9:2, 6

「やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。…ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。」

※イザヤ42:6-7

「わたし、主は、義をもってあなたを召し、あなたの手を握り、あなたを見守り、あなたを民の契約とし、国々の光とする。こうして、見えない目を開き、囚人を牢獄から、やみの中に住む者を獄屋から連れ出す。」

2. 「わたしは世の光です」の真意(12a)

3. 「わたしは世の光です」が与える約束(12b)

1) 光であるイエス様に従う者は、決して_____を歩むことがない

(※コロサイ1:13「暗闇の圧政/暗闇の力」)

※マタイ28:20

「…見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

※ヨハネ16:33

「わたしがこれらのことあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

※詩篇119:105

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」

2) 光であるイエス様に従う者は、_____を持つ

※エペソ5:8

「あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあって、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。」

※マタイ5:14-16

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はいません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」

※ルカ9:23

「イエスは、みなの者に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」